

2018年12月期第1四半期 決算説明会資料

2018/5/8



目次

I	2018年12月期第1四半期決算概要	P3
II	2018年12月期業績予想	P16
III	中長期的方針	P22

I

2018年12月期第1四半期

決算概要

事業環境

- 黒鉛電極： 電炉鋼生産は堅調。主要原材料のタイト化。
黒鉛電極需給ひっ迫深刻化
- カーボンブラック： 中国の環境規制が原料面、生産面より市場のタイト感醸成。
タイヤメーカーからの引き合いが高水準で推移。
- ファインカーボン： 太陽電池、半導体市場の好調に加え一般産業用途でも黒鉛素材の需要増加。
アジアを中心に市況上昇。

業績動向

- 売上高 黒鉛電極・カーボンブラックの売価上昇などにより前期比72.6%増
黒鉛電極の新北米拠点は、当期売上高45億36百万円の寄与
- 営業利益： 黒鉛電極の売価上昇インパクト大きい、その他事業も総じて好調に推移
前期比617.8%増

2018年12月期業績予想の修正(5月8日付)

前回(2月13日付)予想の売上高、営業利益等を上方修正。

- 前年同期比:売上高174億円増、営業利益110億円増
- ROS(営業利益率) 7% → 31%へ
- 当期増分は黒鉛電極事業が主導

(百万円)

	2017年1-3月	2018年1-3月	増減額	増減率
売上高	24,104	41,595	17,491	72.6%
営業利益	1,781	12,787	11,005	617.8%
経常利益	2,014	12,761	10,746	533.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,604	9,267	7,662	477.5%

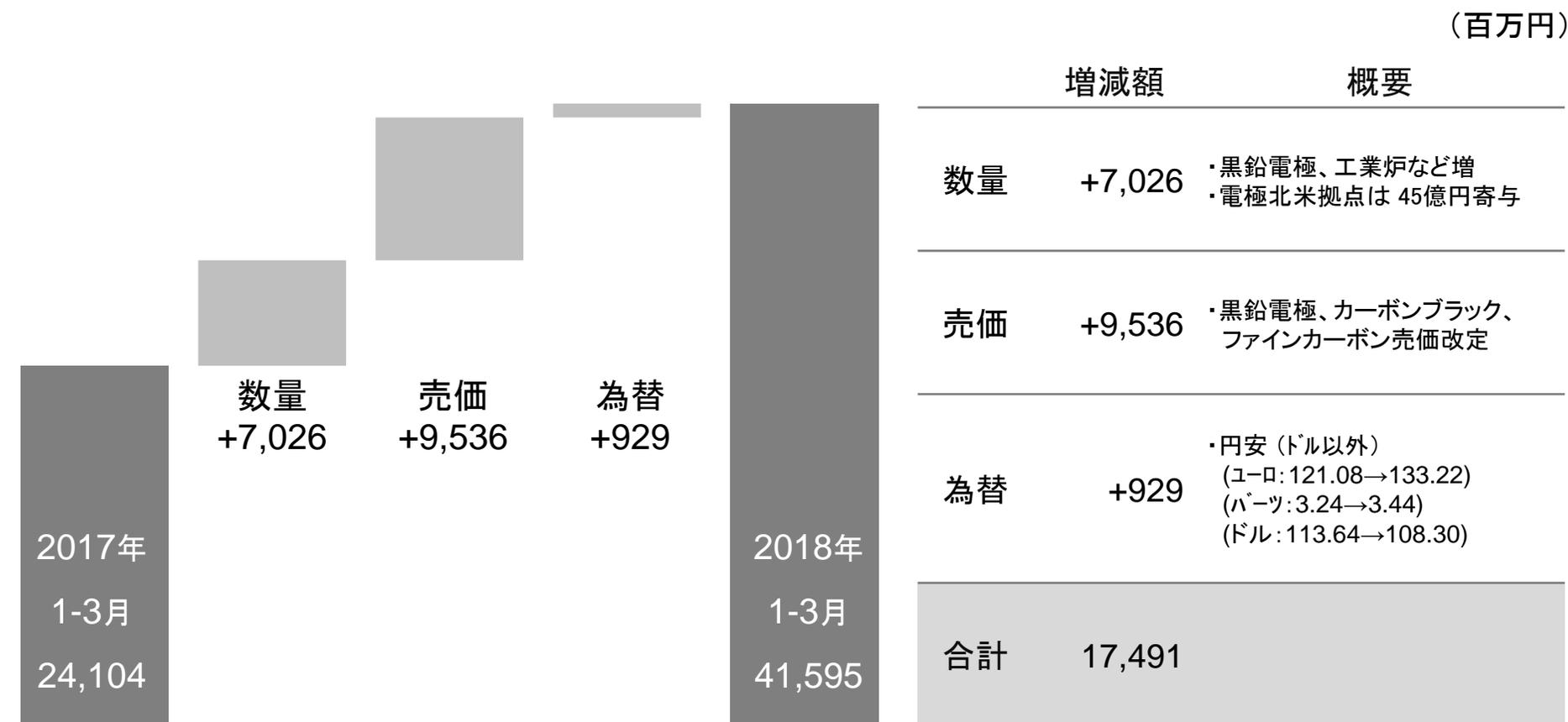
連結対象会社(2018年3月末現在)

- 連結子会社 27社(増減なし)
- 持分法適用会社 3社(増減なし)

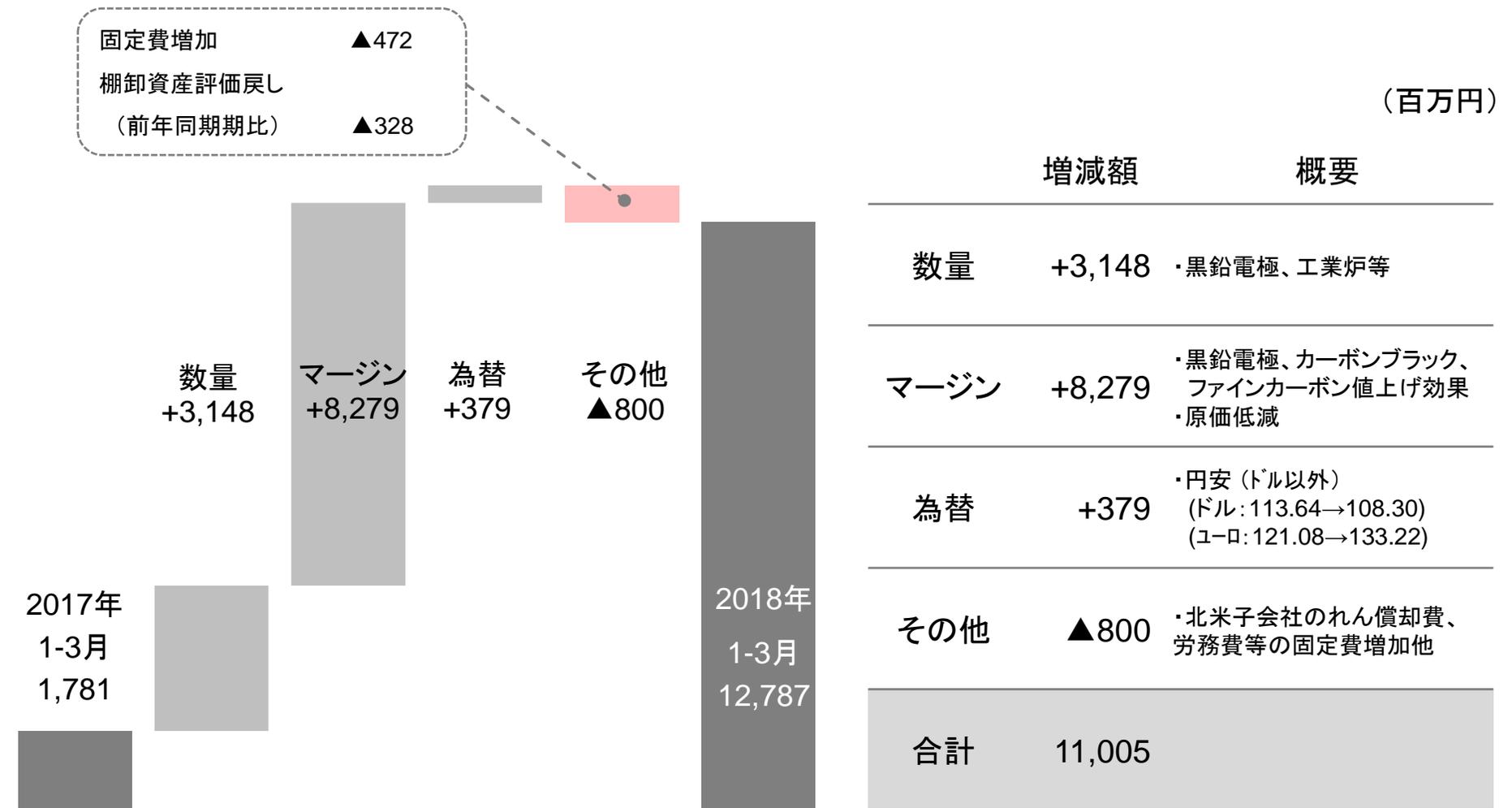
1-3月平均為替レート

- 2017年 \$1=¥113.64
- 2018年 \$1=¥108.30

- 数量増要因の過半は黒鉛電極の北米拠点獲得、次いで工業炉販売増が寄与
- 売価増要因の過半は黒鉛電極、次いでカーボンブラックの売価改定が寄与



- マージン向上要因の大半は黒鉛電極、次いでカーボンブラックの売価改訂
- 北米拠点の連結等による数量効果も増益に寄与



- 黒鉛電極事業のインパクト大
- その他事業も総じて堅調

(百万円)

		売上高			営業利益		
		2017年1-3月	2018年1-3月	増減額	2017年1-3月	2018年1-3月	増減額
黒鉛電極		5,136	16,984	11,847	144	8,558	8,413
カーボンブラック		11,344	14,276	2,931	1,479	2,816	1,336
ファインカーボン		3,394	3,893	498	47	708	661
工業炉関連		1,207	2,663	1,456	195	633	437
その他	摩擦材	2,033	2,296	263	-	-	-
	負極材	930	1,439	509	-	-	-
	その他	58	42	▲16	-	-	-
		3,021	3,778	757	209	320	111
調整		-	-	-	▲294	▲250	44
合計		24,104	41,595	17,491	1,781	12,787	11,005

■ 売上高は前年同期比230.6%の増収

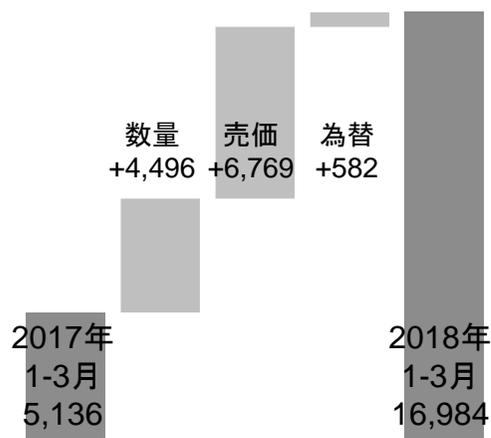
北米拠点の数量増加分(45億36百万円)が寄与

■ 営業利益は前年同期比大幅な増益

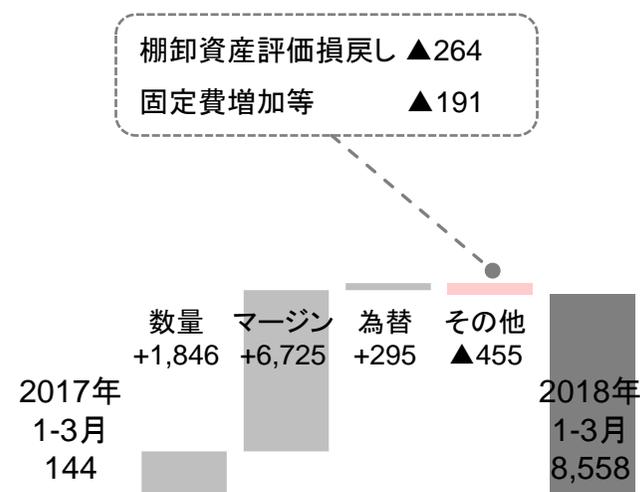
世界的な電炉鋼生産の回復、中国の電炉鋼シフト、電極主要原材料の供給不足等により、2018年契約分より市況が上昇。北米拠点の数量増要因もあり

	(百万円)			
	2017年 1-3月	2018年 1-3月	増減額	増減率
売上高	5,136	16,984	11,847	230.6%
営業利益	144	8,558	8,413	5,813.5%
ROS	2.8%	50.4%		

売上高増減分析



営業利益増減分析



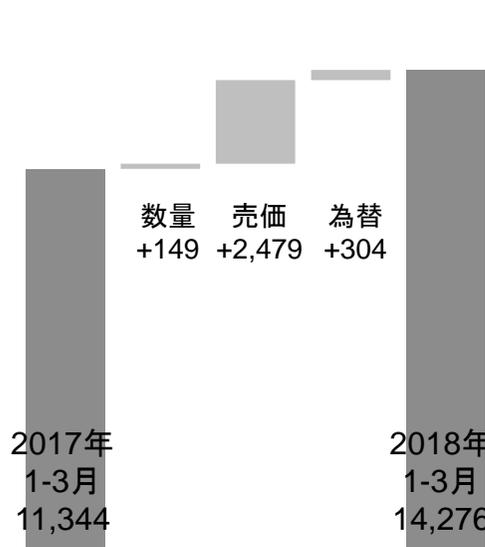
■ 堅調な事業環境

カーボンブラックの世界需給引き締まり、中国カーボンブラックメーカーの後退、
タイヤメーカーからの引き合い活発化

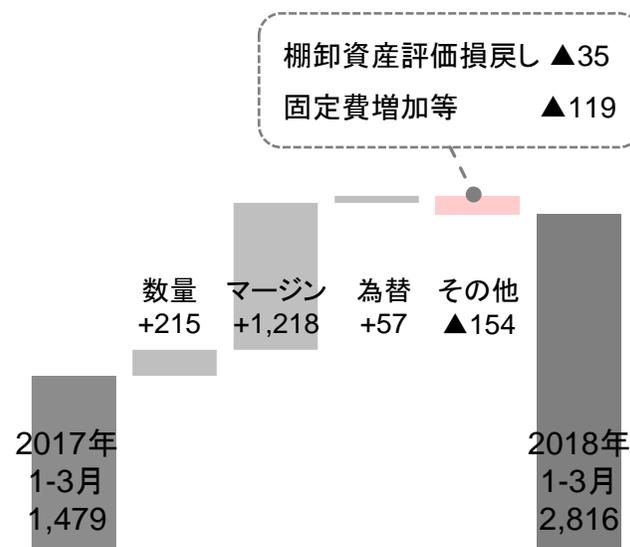
- 売上高は、原料油価格上昇に伴う販売価格改定もあり、前年同期比25.8%増
- 営業利益は、ボトルネック解消を含む生産効率化、海外の市況回復(売価改善)、フル稼働生産が相まって90.4%増

	(百万円)			
	2017年 1-3月	2018年 1-3月	増減額	増減率
売上高	11,344	14,276	2,931	25.8%
営業利益	1,479	2,816	1,336	90.4%
ROS	13.0%	19.7%		

売上高増減分析



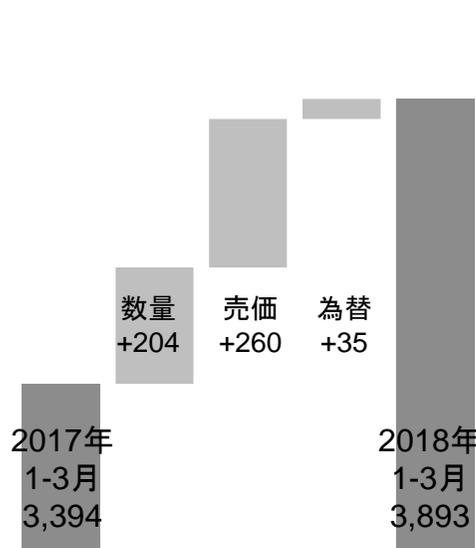
営業利益増減分析



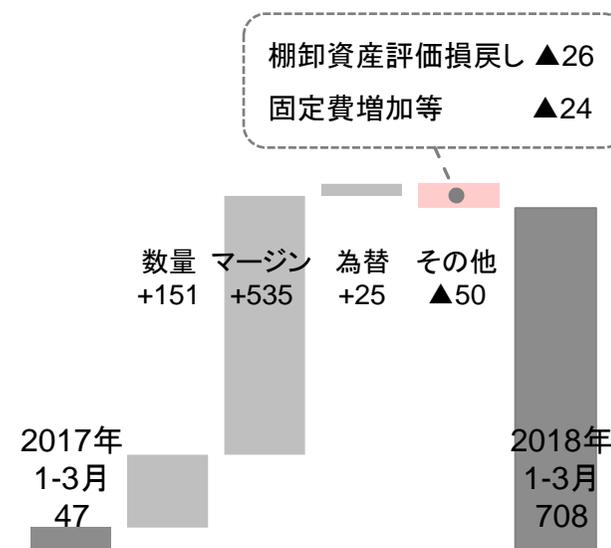
- 太陽電池、半導体市場が好調。一般産業用途でも特殊黒鉛素材の需要が増加。売価改定も寄与し、売上高は前年同期比14.7%の増収
- 売価改定効果に加え、2016年実施の構造改革（固定費削減）の取組継続の効果もあり、営業利益は大幅増

	(百万円)			
	2017年 1-3月	2018年 1-3月	増減額	増減率
売上高	3,394	3,893	498	14.7%
営業利益	47	708	661	1,395.2%
ROS	1.4%	18.2%		

売上高増減分析



営業利益増減分析

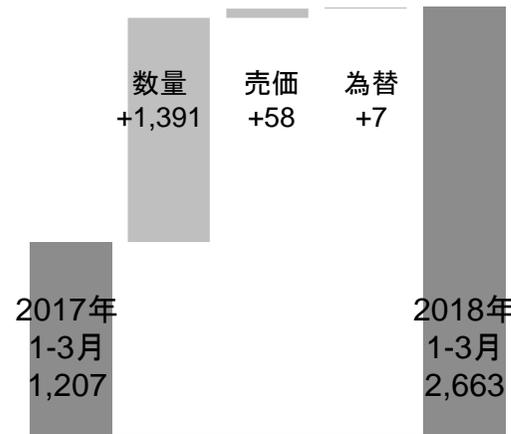


- 自動車向けMLCC(積層セラミックコンデンサ)用、LiB(リチウムイオン2次電池)用の工業炉販売が増加し、売上高は前年同期比120.6%の増収
- 品種構成等によりマージンは若干低下したものの、増収を反映して、営業利益は大幅増

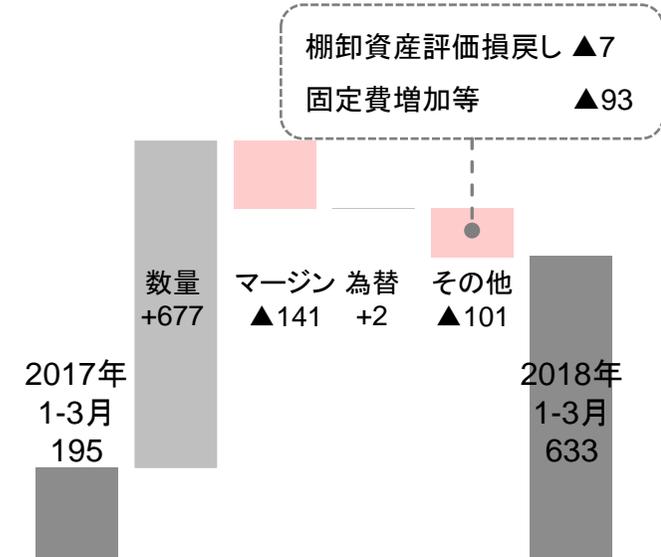
(百万円)

	2017年 1-3月	2018年 1-3月	増減額	増減率
売上高	1,207	2,663	1,456	120.6%
営業利益	195	633	437	224.1%
ROS	16.2%	23.8%		

売上高増減分析



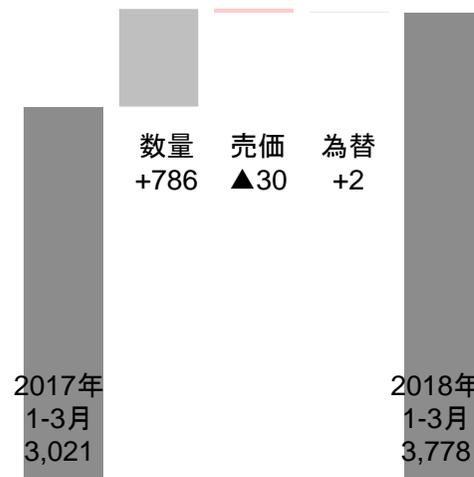
営業利益増減分析



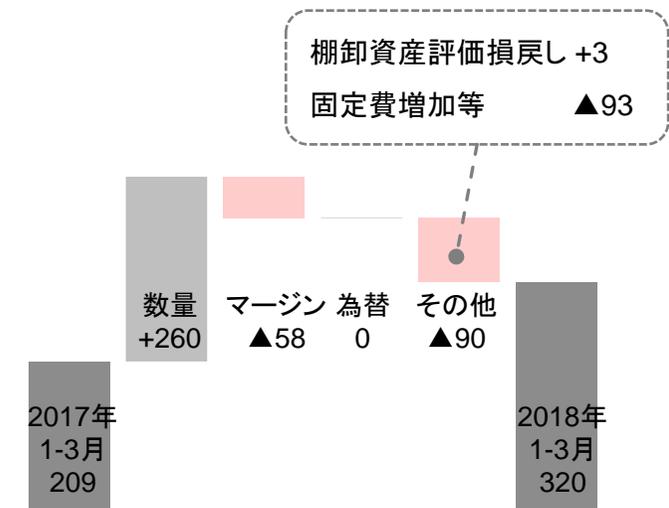
- 摩擦材は、建設機械向けや産業用ロボットを含む工作機械向けの需要が好調で、売上高は前年同期比13%の増収。
- 負極材も販売数量が増加し、前年同期比54.8%の増収。
- 固定費増等のマイナス要因はあったものの、摩擦材・負極材の増収効果により営業増益

	(百万円)			
	2017年 1-3月	2018年 1-3月	増減額	増減率
売上高	3,021	3,778	757	25.1%
営業利益	209	320	111	53.2%
ROS	6.9%	8.5%		

売上高増減分析



営業利益増減分析



(百万円)

主なキャッシュ・フロー項目

	2017年1-3月	2018年1-3月	概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,551	6,633	
税金等調整前当期純利益	2,073	12,761	
減価償却費	1,642	1,708	
減損損失	0	—	
有形固定資産売却損益	1	—	
売上債権増減	830	▲4,981	
棚卸資産増減	▲837	▲5,395	
仕入債務増減	523	2,022	
法人税等の支払額	▲1,257	▲1,626	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲937	▲1,308	
有形固定資産取得	▲885	▲1,257	
有形固定資産売却	2	—	
TCGE取得による支出	—	—	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲7,449	▲1,790	
短期借入金純増減	540	▲333	
長期借入れ返済	▲6,255	—	
配当金の支払	▲639	▲1,278	
現金及び現金同等物期末残高	22,413	24,985	

(百万円)

主な貸借対照表項目

	2017年12月末	2018年3月末	概要
資産合計	182,972	187,870	
流動資産	85,241	96,041	
現預金	22,152	24,993	
受取手形・売掛金	30,265	34,761	
商品・製品	9,257	10,419	
仕掛品	10,063	12,263	
原材料・貯蔵品	8,041	9,551	
固定資産	97,731	91,828	
有形固定資産	48,447	47,102	
無形固定資産	17,746	16,249	
投資その他の資産	31,537	28,476	
負債合計	56,372	58,058	
流動負債	36,870	40,988	
固定負債	19,501	18,070	
純資産合計	126,599	128,811	
株主資本	109,558	117,406	
その他包括利益累計額	16,276	10,663	
非支配株主持分	763	741	
負債純資産合計	182,972	187,870	

・有形固定資産(前期末比▲13億45百万円)
 ・無形固定資産(前期末比▲14億96百万円)
 資本的支出: 15億78百万円(前年同期比+ 1億92百万円)
 減価償却費: 17億 8百万円(前年同期比+ 65百万円)
 のれん償却費: 2億74百万円(前年同期比+ 1億77百万円)

・有利子負債157億43百万円(前期末比▲4億1百万円)

・自己資本比率68.2%(前期末68.8%)

II

2018年12月期

業績予想

- 売上高 1,940億円
- 営業利益 637億円
- 黒鉛電極市況の上昇、他事業も好調を継続

(百万円)

	前回(2月13日)業績予想			2018年業績予想(今回発表)			増減額	増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	79,200	94,800	174,000	88,000	106,000	194,000	+20,000	+11.5%
営業利益	16,700	26,300	43,000	27,700	36,000	63,700	+20,700	+48.1%
経常利益	17,000	27,000	44,000	28,000	36,800	64,800	+20,800	+47.3%
親会社株主に帰属する純利益	12,000	18,000	30,000	20,200	26,600	46,800	+16,800	+56.0%
ROS	21.1%	27.7%	24.7%	31.5%	34.0%	32.8%	—	—
ROIC	—	—	25.5%	—	—	36.8%	—	—
ROE	—	—	23.6%	—	—	34.7%	—	—

連結対象会社

- 連結子会社 27社
- 持分法適用会社 3社

期中平均為替レート

- 2017年 \$1=¥112.19
- 2018年 \$1=¥105.00 (2Q以降)

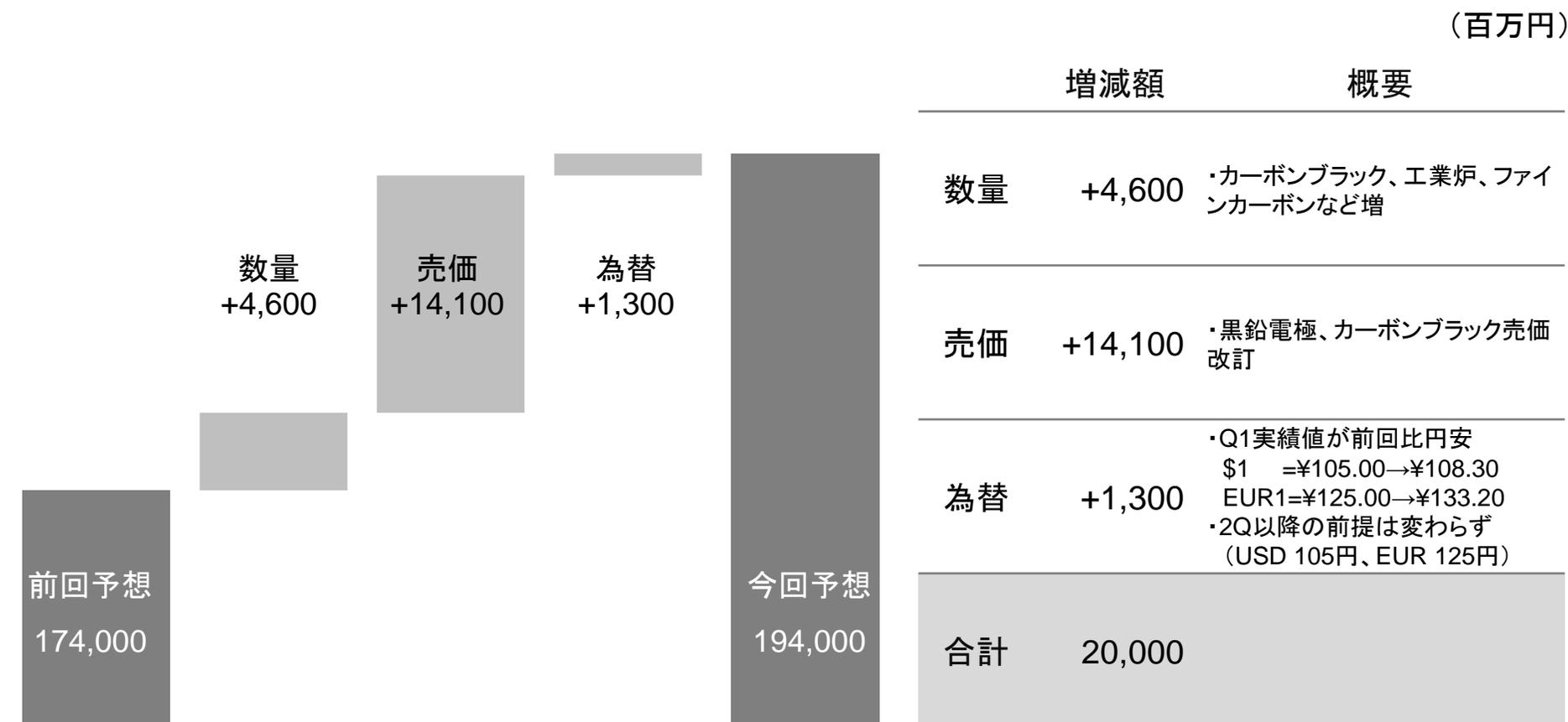
セグメント別売上高・営業利益予想

18

(百万円)

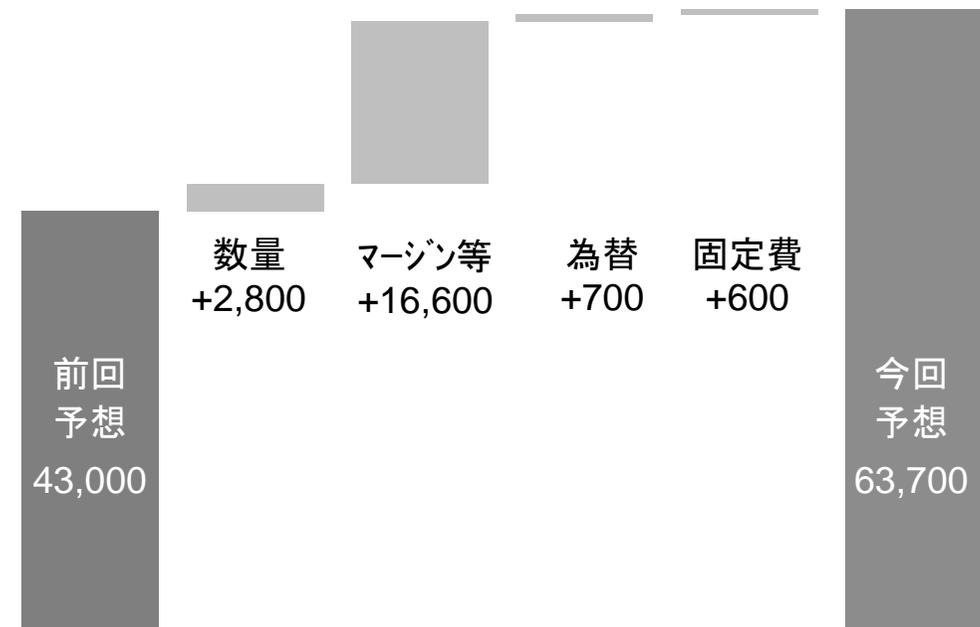
	前回(2月13日)業績予想			2018年業績予想(今回発表)			増減額	増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	79,200	94,800	174,000	88,000	106,000	194,000	+20,000	+11.5%
黒鉛電極	35,300	50,700	86,000	38,500	54,600	93,100	+7,100	+8.3%
カーボンブラック	24,600	25,100	49,700	28,900	29,600	58,500	+8,800	+17.7%
ファインカーボン	7,000	7,100	14,100	7,500	8,000	15,500	+1,400	+9.9%
工業炉関連	4,800	3,900	8,700	5,300	5,900	11,200	+2,500	+28.7%
その他								
摩擦材	4,700	4,800	9,500	4,700	4,900	9,600	+100	+1.1%
負極材	2,700	3,100	5,800	3,000	2,900	5,900	+100	+1.7%
その他	100	100	200	100	100	200	—	—
その他計	7,500	8,000	15,500	7,800	7,900	15,700	+200	+1.3%
営業利益	16,700	26,300	43,000	27,700	36,000	63,700	+20,700	+48.1%
黒鉛電極	11,400	21,000	32,400	20,000	28,600	48,600	+16,200	+50.0%
カーボンブラック	3,450	3,550	7,000	5,150	4,750	9,900	+2,900	+41.4%
ファインカーボン	1,050	1,050	2,100	1,300	1,300	2,600	+500	+23.8%
工業炉関連	850	650	1,500	1,150	1,250	2,400	+900	+60.0%
その他	500	600	1,100	600	600	1,200	+100	+9.1%
調整	▲550	▲550	▲1,100	▲500	▲500	▲1,000	+100	—

- カーボンブラック、工業炉、ファインカーボン等で数量伸長
- 黒鉛電極の想定以上の需給深刻化(売価に影響)



- 黒鉛電極の想定以上の需給深刻化、市況価格の浮上
- 黒鉛電極、カーボンブラックの生産性改善効果

営業利益増減分析

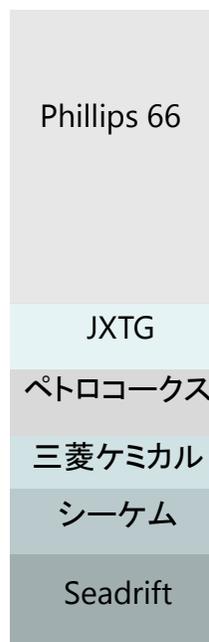


(百万円)

	増減額	概要
数量	+2,800	工業炉、カーボンブラック
マージン等	+16,600	黒鉛電極の売価上昇、生産性改善効果現出等
為替	+700	・Q1実績値が計画比円安 \$1 = ¥105.00 → ¥108.30 EUR1 = ¥125.00 → ¥133.20 ・2Q以降の前提は変わらず (USD 105円、EUR 125円)
固定費	+600	
合計	20,700	

- 高品質ニードルコークスが、黒鉛電極供給の制約条件に
- LiB負極材需要急増と電気炉鋼生産上昇の構造要因により電極需給ひっ迫は継続する見通し

高品質ニードルコークス供給



(当社推定)

増加する需要

LiB用負極材原料として

- 加速度的に増加する電気自動車向けリチウムイオン2次電池需要に合わせ、負極材用コークス需要も急増
- 2017年約10万トン。2020年には30万トン超の見通し

高品質電極用原料として

- 電炉鋼生産の世界的回復、増加
- 中国環境規制強化による電炉鋼シフト
- 中国ではスクラップ配合比率上昇で、高負荷操業に耐える高品質な電極への需要が高まる見通し

*高品質ニードルコークス公称年産能力は97万トンだが、製造品種、原料ソース発生量によって変動するため実質は80万トン前後

*ニードルコークスは黒鉛電極の品質を左右する重要原材料。電極1トン製造に約1トンのニードルコークスを使用する

III

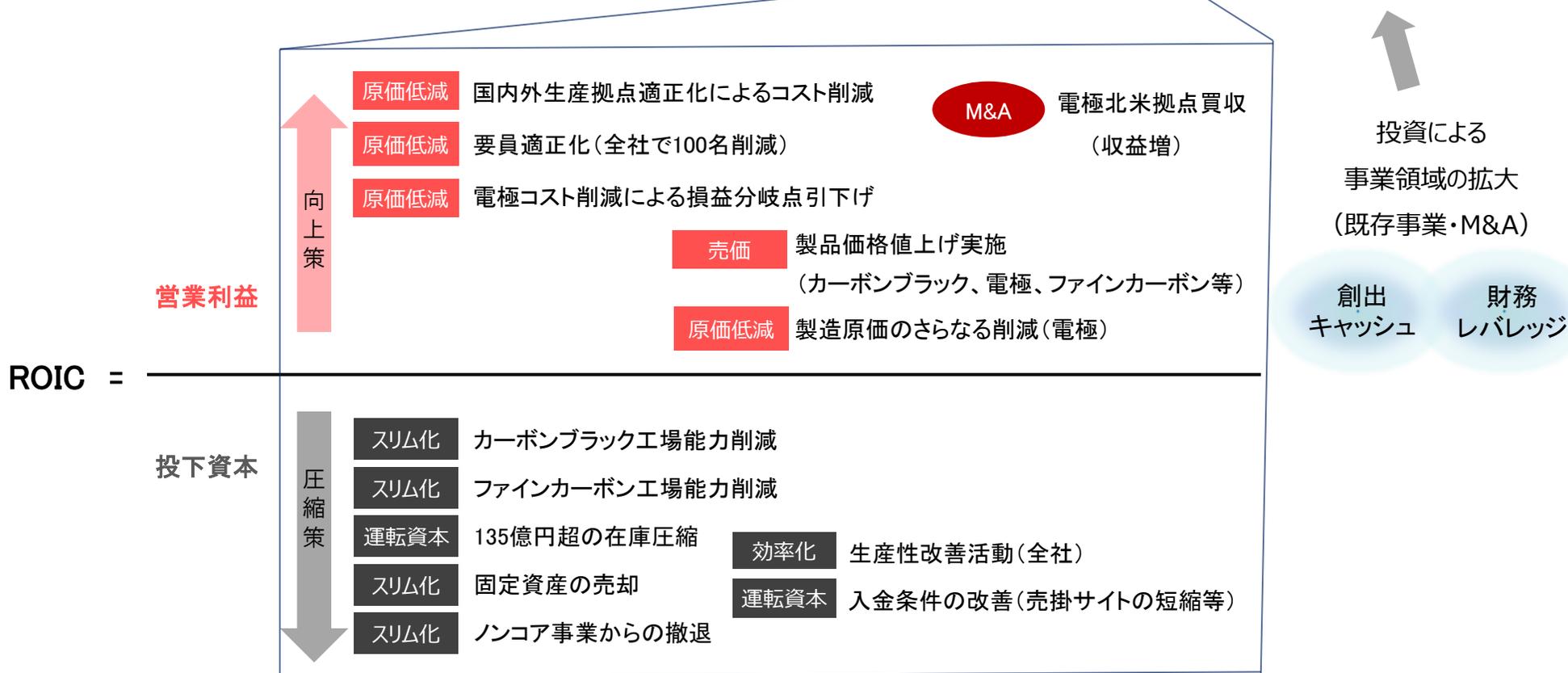
2018年以降

中長期的方針

【屈んで】 中期経営計画では「構造改革」を中心にROIC向上に取り組み体質変革

【跳ぶ】 2018年以降は本業より創出するキャッシュと財務レバレッジ活用により、事業領域拡大

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018~
ROIC	3.1%	0.4%	1.8%	2.1%	0.7%	8.0%	36% 超
ROE	1.8%	1.0%	2.0%	1.9%	▲6.8%	10.0%	34% 超



事業領域の拡大

- 既存事業への投資、M&A等による拡大
(売上高2000億円超を目線)
- 次世代開発品の商品化と市場展開

<成長市場への展開>

- 自動車、電子製品関連分野への戦略投資
- EV車、AI、IoT産業の
半導体関連、熱処理需要増加への対応

収益の安定化

- 景況に左右されにくい
ビジネスモデルの構築
(フォーミュラ制の導入等)
- 事業ポートフォリオの健全化
(主要3事業のバランス化)

企業価値 持続的向上

内外拠点の最適化

- 電極3極(日・米・欧)体制の強化
- 多極化する拠点の
効率的ガバナンスと生産最適化

參考資料

セグメント別業績推移(四半期ベース)

26

f=見通し(百万円)

	2017					2018f			
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2f	下期f	通期f
売上高	24,104	25,080	25,882	31,184	106,252	41,595	46,405	106,000	194,000
黒鉛電極	5,136	4,520	5,246	8,706	23,610	16,984	21,516	54,600	93,100
カーボンブラック	11,344	12,160	11,858	12,465	47,828	14,276	14,624	29,600	58,500
ファインカーボン	3,394	3,450	3,781	3,820	14,447	3,893	3,607	8,000	15,500
工業炉関連	1,207	1,615	1,543	2,457	6,823	2,663	2,637	5,900	11,200
その他									
摩擦材	2,033	2,113	2,192	2,332	8,671	2,296	2,404	4,900	9,600
負極材	930	1,152	1,199	1,358	4,640	1,439	1,561	2,900	5,900
その他	58	66	61	43	230	42	58	100	200
その他計	3,021	3,333	3,452	3,734	13,542	3,778	4,022	7,900	15,700
営業利益	1,781	2,446	3,342	3,916	11,486	12,787	14,913	36,000	63,700
黒鉛電極	144	▲119	619	1,103	1,748	8,558	11,442	28,600	48,600
カーボンブラック	1,479	1,917	1,912	1,559	6,868	2,816	2,334	4,750	9,900
ファインカーボン	47	343	584	763	1,738	708	592	1,300	2,600
工業炉関連	195	317	305	524	1,342	633	517	1,250	2,400
その他	209	242	174	232	858	320	280	600	1,200
調整	▲294	▲253	▲255	▲265	▲1,069	▲250	▲250	▲500	▲1,000

(百万円)

	2014年 12月期	2015年 12月期	2016年 12月期	2017年 12月期	2018年 1-3月期
設備投資額	6,830	5,301	6,013	4,282	1,578
減価償却費	8,629	9,242	8,124	6,605	1,708
研究開発費	1,882	1,822	2,249	1,482	344
総資産	210,439	184,074	158,824	182,972	187,870
期末有利子負債残高	38,290	23,936	17,048	16,144	15,743
金融収支	▲139	82	82	178	▲2
従業員数	2,064	2,092	1,980	2,142	2,140
為替レート (JPY/USD)	105.85	121.05	108.85	112.19	108.30

(百万円)

子会社	2017年 1-3月	2018年 1-3月	増減額	所在地・事業	概要
TOKAI ERFT CARBON	2,183	7,684	+5,501	ドイツ 黒鉛電極	・売価増 ・為替+7億円
TOKAI CARBON GE	—	5,840	+5,840	アメリカ 黒鉛電極	・新規取得 ・TCESより移管された リセール売上13億円を除くと、 前年同期比+45億36百万円
THAI TOKAI CARBON PRODUCT	3,436	4,572	+1,136	タイ カーボンブラック	・売価増 ・為替+3億円
東海炭素(天津)	969	1,472	+503	中国 カーボンブラック	・売価増
CANCARB	1,874	1,914	+40	カナダ カーボンブラック	・販売数量増

(百万円)

	T-2018 目標数値 (参考)	2015	2016	2017	2018 (予想)
売上	110,000	104,864	88,580	106,252	194,000
営業利益	9,000	4,088	1,131	11,486	63,700
親会社株主に帰属する純利益	-	2,484	▲7,929	11,816	46,800
ROS	8%以上	3.9%	1.3%	10.8%	32.8%
ROE	-	2.0%	▲6.8%	10.0%	34.7%
ROIC	6%以上	2.1%	0.7%	8.0%	36.8%
減価償却費	-	9,242	8,124	6,605	7,400
設備投資額	-	5,301	6,013	4,282	8,700
棚卸資産	-	34,253	20,734	27,362	39,500
有形・無形固定資産	-	67,953	53,657	66,194	63,500

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需要動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。

IRに関する連絡先

総務部 矢島 nyajima@tokaicarbon.co.jp TEL 03-3746-5148



Building a Future of Technology and Trust
TOKAI CARBON